

## グローバル・コミュニケーション学科授業科目一覧

〈基本教育科目：教養演習科目・表現伝達科目〉

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
基本教育科目	教養演習科目	教養基礎演習A	◎				1	教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。	
	教養基礎演習B	◎				1			
	英語表現科目	基礎英語 1 A	◎				1	表現伝達科目は必修科目10単位に加えて、英語表現科目の選択科目4単位以上を含み、合計20単位以上を修得しなければならない。	
		基礎英語 1 B	◎				1		
		基礎英語 2 A	◎				1		
		基礎英語 2 B	◎				1		
		基礎英語 3 A	◎				1		
		基礎英語 3 B	◎				1		
		基礎英語 4 A	◎				1		
		基礎英語 4 B	◎				1		
		応用英語 I-1 A		○					1
		応用英語 I-1 B		○					1
		応用英語 I-2 A			○				1
		応用英語 I-2 B			○				1
		応用英語 I-3 A			○				1
		応用英語 I-3 B			○				1
		応用英語 I-4	○						1
		応用英語 I-5		○					1
		応用英語 I-6 A			○				1
		応用英語 I-6 B			○				1
		応用英語 I-7 A			○				1
		応用英語 I-7 B			○				1
		応用英語 II-1 A				○			1
		応用英語 II-1 B				○			1
		応用英語 II-2 A				○			1
		応用英語 II-2 B				○			1
		応用英語 II-3 A				○			1
		応用英語 II-3 B				○			1
		応用英語 II-4 A				○			1
		応用英語 II-4 B				○			1
		応用英語 II-5 A				○			1
		応用英語 II-5 B				○			1
		応用英語 II-6				○			1
		応用英語 II-7 A				○			1
		応用英語 II-7 B				○			1
		応用英語 II-8 A				○			1
		応用英語 II-8 B				○			1
		ALPS (英語特別選抜クラス) I-1 A			○				1
	ALPS (英語特別選抜クラス) I-1 B			○			1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) I-2 A			○			1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) I-2 B			○			1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) II-1 A				○		1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) II-1 B				○		1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) II-2 A				○		1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) II-2 B				○		1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) III-1 A					○	1		
	ALPS (英語特別選抜クラス) III-1 B					○	1		
ALPS (英語特別選抜クラス) III-2 A					○	1			
ALPS (英語特別選抜クラス) III-2 B					○	1			
初習外国語科目	フランス語 I A	○					1		
	フランス語 I B	○					1		
	フランス語 II A		○				1		
	フランス語 II B		○				1		
	中国語 I A	○					1		
	中国語 I B	○					1		
	中国語 II A		○				1		
	中国語 II B		○				1		
	ハングル I A	○					1		
	ハングル I B	○					1		
	ハングル II A		○				1		
	ハングル II B		○				1		
	スペイン語会話						1		
	日本語 I A 注1)	○					1		
日本語 I B 注1)	○					1			
日本語 II A 注1)		○				1			
日本語 II B 注1)		○				1			
日本語 III A 注1)			○			1			
日本語 III B 注1)			○			1			
日本語 IV A 注1)				○		1			
日本語 IV B 注1)				○		1			
表現科目	日本語表現法 A		○				1		
	日本語表現法 B		○				1		
情報処理科目	日本語表現技法 A			○			2		
	日本語表現技法 B			○			2		
	情報処理基礎 A	◎				1	1		
	情報処理基礎 B	◎				1	1		
	情報処理応用 A		○				1		
	情報処理応用 B		○				1		
	情報処理法 1 (統計分析)			○			2		
	情報処理法 2 (情報活用)			○			2		
情報処理法 3 (データベース)			○			2			
情報処理法 4 (グラフィックデザイン)			○			2			
情報処理法 5 (プログラミング)			○			2			

注1) 「日本語 I～IV」の履修対象者は、留学生・帰国学生に限る

<基本教育科目：教養基礎科目・キャリア教育科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
基本教育科目	人間理解	哲学の世界	○					2	教養基礎科目は「人間理解」「芸術理解」「社会理解」「世界理解」「現代の探求」の3つ以上の分野で各4単位以上、合計20単位以上を修得しなければならない。
		心の理解	○					2	
		心の発達	○					2	
		宗教と人間	○					2	
		現代の倫理問題	○					2	
		人間のセクシュアリティ	○					2	
		身体とウェルネス	○					2	
		スポーツ1	○					1	
		スポーツ2	○					1	
		スポーツ3 注2)						2	
スポーツと人間		○				2			
キリスト教の人間観		○				2			
東洋思想の人間観		○				2			
生命科学と倫理					○	2			
日本人の死生観					○	2			
日本文学と人間	○					2			
欧米文学と人間	○					2			
音楽の世界	○					2			
舞台芸術の世界	○					2			
映画と現代 注3)	○					2			
世界の古典文学		○				2			
日本の美術		○				2			
色彩とデザイン		○				2			
ファッション文化史		○				2			
日本の伝統文化					○	2			
現代の日本文化					○	2			
ヨーロッパの美術					○	2			
ミュージアムの世界					○	2			
建築と景観					○	2			
個人と社会	○					2			
現代日本の法	○					2			
政治のしくみ	○					2			
経済のしくみ	○					2			
社会思想と現代	○					2			
経営と管理	○					2			
組織と人間	○					2			
近代日本の歩み	○					2			
インターネットと社会	○					2			
日本国憲法(基本的人権)	○					2			
日本国憲法(国家のしくみ)	○					2			
日本の経済事情	○					2			
先端技術の世界			○			2			
マスメディアの世界			○			2			
政治倫理と行政問題				○		2			
海外文化演習(アメリカ) 注4)	○					2			
海外文化演習(イギリス) 注4)	○					2			
海外文化演習(オーストラリア) 注4)	○					2			
海外文化演習(カナダ) 注4)	○					2			
海外文化演習(中国) 注4)	○					2			
国際体験演習1 注4)	○					2			
国際体験演習2 注4)	○					2			
国際体験演習3 注4)	○					2			
文化の多様性	○					2			
現代の歴史(20世紀前半)	○					2			
現代の歴史(20世紀後半)	○					2			
核兵器と国際関係	○					2			
異文化との出会い	○					2			
アメリカの社会と文化	○					2			
ヨーロッパの社会と文化	○					2			
イギリスの社会と文化	○					2			
中国の社会と文化		○				2			
イスラムの社会と文化		○				2			
人間と自然の地理	○					2			
世界と若者	○					2			
国際NGOと国際貢献	○					2			
地球温暖化と環境破壊	○					2			
世界情勢と安全保障	○					2			
少子高齢化と日本社会	○					2			
現代社会とボランティア	○					2			
現代科学と人間			○			2			
都市化と日本社会			○			2			
ボランティア体験演習Ⅰ			○			2			
ボランティア体験演習Ⅱ			○			2			
格差問題の背景・影響と対応策				○		2			
エネルギー・水・食料と資源政策				○		2			
日本の国際化と外国人労働者				○		2			
食の安全と食料政策				○		2			
環境問題と企業経営				○		2			
現代社会とジェンダー				○		2			
日本の裁判				○		2			
本郷の地誌と景観				○		2			
本郷の歴史と文学				○		2			
スタートアップ・インターンシップ 注5)	○					1	キャリア教育科目は4単位を修得しなければならない。但し、4単位を超えて修得した単位については、教養基礎科目の単位とみなすことができる。		
セルフディベロップメント認定Ⅰ 注6)	○					2			
セルフディベロップメント認定Ⅱ 注6)	○					2			
キャリア開発Ⅰ-1	○					2			
キャリア開発Ⅰ-2	○					2			
キャリア開発Ⅱ-1		○				2			
キャリア開発Ⅱ-2		○				2			
キャリア開発Ⅱ-3		○				2			
キャリア開発Ⅱ-4:インターンシップ演習Ⅰ 注7)		○				2			
キャリア開発Ⅲ-1			○			1			
キャリア開発Ⅲ-2			○			2			
キャリア開発Ⅲ-3:インターンシップ演習Ⅱ 注7)			○			1			
キャリア開発Ⅳ-1				○		2			

注2) 「スポーツ3」は、半期の授業と集中授業からなる。 注3) 「映画と現代」は、2時限連続で講義を行う。  
 注4) 夏期・春期の集中科目。本学指定のプログラムに限る。  
 注5) 「スタートアップ・インターンシップ」は、複数回の授業と実習等からなる。  
 注6) 「セルフディベロップメント認定Ⅰ」「セルフディベロップメント認定Ⅱ」は、単位認定科目。  
 注7) 「キャリア開発Ⅱ-4:インターンシップ演習Ⅰ」「キャリア開発Ⅲ-3:インターンシップ演習Ⅱ」は、夏期・春期の集中科目。本学指定の派遣先に限る。

<専門教育科目：専門基礎科目・専門基幹科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門基礎科目	ことばとコミュニケーション	○					2	専門教育科目は、以下の要件を満たして合計78単位以上を修得しなければならない。  ①専門基礎科目の「グローバル交流基礎演習」「アジア社会文化基礎演習」「国際関係基礎演習」「環境学基礎演習」「都市文化基礎演習」「情報メディア基礎演習」から4単位を修得しなければならない。  ②3・4年次において専門ゼミ科目8単位を修得しなければならない。  ③4年次において卒業論文・卒業制作8単位あるいは専門特別講義科目8単位を修得しなければならない。  ④基本教育科目で修得した46単位を超える単位については、8単位を上限に専門教育科目の単位とみなすことができる。  ⑤英語コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までをグローバル・コミュニケーション学科の専門教育科目の単位とみなすことができる。	
	国際社会とコミュニケーション	○					2		
	国際関係入門	○					2		
	世界の中の日本	○					2		
	観光事情	○					2		
	情報メディア入門	○					2		
	社会科学入門	○					2		
	環境学入門	○					2		
	都市文化入門	○					2		
	アメリカの文化		○				2		
	アジアの文化		○				2		
	ヨーロッパの文化		○				2		
	移民と多文化		○				2		
	ガバナンス論		○				2		
	エコロジー入門		○				2		
	現代日本社会論		○				2		
	メディア・コミュニケーションと現代社会		○				2		
	グローバル交流基礎演習		○				2		
	アジア社会文化基礎演習		○				2		
	国際関係基礎演習		○				2		
	環境学基礎演習		○				2		
	都市文化基礎演習		○				2		
	情報メディア基礎演習		○				2		
	専門教育科目	グローバルネットワーク論		○					2
		多文化の理解		○					2
		アメリカ研究入門		○					2
		アジア研究入門		○					2
		ヨーロッパ研究入門		○					2
		アジアの経済		○					2
		アジアの産業		○					2
		国際関係史		○					2
		国際政治の基礎		○					2
		政治思想と国際関係		○					2
国際環境論			○				2		
日本の環境問題			○				2		
資源と環境			○				2		
世界食料事情			○				2		
自然環境論 注8)			○				2		
マスメディア論			○				2		
ジャーナリズム論			○				2		
情報産業論			○				2		
メディアリテラシー			○				2		
ネットワーク社会論			○				2		
都市環境と暮らし			○				2		
都市の歴史			○				2		
都市の伝統教養			○				2		
都市風俗論			○				2		
先端文化論			○				2		
異文化交流論					○		2		
国際関係論					○		2		
国際貢献論					○		2		
日本とアメリカ					○		2		
日本とアジア					○		2		
日本とヨーロッパ					○		2		
アメリカ研究					○		2		
アジア研究					○		2		
ヨーロッパ研究				○		2			
映像メディア制作の世界				○		2			
ソフトウェア開発の世界				○		2			
出版と編集の世界				○		2			
報道とメディアの世界				○		2			
情報と社会				○		2			
外交政策論				○		2			
気候変動と国際的枠組み				○		2			
企業活動と環境				○		2			
環境政策				○		2			
生活と環境衛生				○		2			
エコツーリズム論 注8)				○		2			
都市の生活文化				○		2			
都市の映像文化				○		2			
近代都市文化論				○		2			
現代都市文化論				○		2			
都市文化創生論				○		2			

注8) 「自然環境論」「エコツーリズム論」は、夏期の集中科目。

## ＜専門教育科目：専門展開科目・専門ゼミ科目・専門特別講義科目＞

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門教育科目	専門展開科目	映画と社会		○				2	
		観光開発		○				2	
		世界遺産		○				2	
		ホテル業と観光		○				2	
		日本語教育入門		○				2	
		生涯発達心理学		○				2	
		日本文学		○				2	
		社会教養入門		○				2	
		情報ネットワーク		○				2	
		ユニバーサルデザイン論		○				2	
		比較文化論入門				○		2	
		比較文化論				○		2	
		現代日本研究 1				○		2	
		現代日本研究 2				○		2	
		サービス産業 1				○		2	
		サービス産業 2				○		2	
		メディア文化論				○		2	
		情報倫理				○		2	
		日本語教育法 1				○		2	
		日本語教育法 2				○		2	
		日本語研究 1				○		2	
	日本語研究 2				○		2		
	日本語研究 3				○		2		
	日本語研究 4				○		2		
	日英語対照研究（音と語のしくみ）				○		2		
	日英語対照研究（文法と意味）				○		2		
	指導者論				○		2		
	専門ゼミ科目	現代都市文化ゼミ I				○		4	
		情報化社会ゼミ I				○		4	
		異文化交流ゼミ I				○		4	
		多文化理解ゼミ I				○		4	
		国際統治論ゼミ I				○		4	
		国際関係ゼミ I				○		4	
		アジア社会ゼミ I				○		4	
		アジア文化ゼミ I				○		4	
		地球環境ゼミ I				○		4	
		国際環境協力ゼミ I				○		4	
		現代都市文化ゼミ II					○	4	
		情報化社会ゼミ II					○	4	
		異文化交流ゼミ II					○	4	
		多文化理解ゼミ II					○	4	
国際統治論ゼミ II						○	4		
国際関係ゼミ II						○	4		
アジア社会ゼミ II						○	4		
アジア文化ゼミ II						○	4		
地球環境ゼミ II						○	4		
国際環境協力ゼミ II						○	4		
卒業論文・卒業制作					○	8			
専門特別講義科目	現代の民族特講				○		2		
	国際協力特講				○		2		
	日本とアメリカ特講				○		2		
	日本とアジア特講				○		2		
	日本とヨーロッパ特講				○		2		
	映像制作特講				○		2		
	IT産業特講				○		2		
	マスメディア特講				○		2		
	地球温暖化と環境保全特講				○		2		
	企業活動と環境特講				○		2		
	現代文化創生特講				○		2		
	現代都市文化論特講				○		2		
	比較文化論特講				○		2		
	現代日本研究特講				○		2		
	ヨーロッパ文化論特講				○		2		
	日本語教育法特講 1				○		2		
	日本語教育法特講 2				○		2		
	日本語研究特講 1				○		2		
日本語研究特講 2				○		2			
指導者論特講				○		2			

※履修年次の◎は、卒業に必要な必修科目であることを示す。

※卒業に必要な単位数は124単位以上であり、GPA（Grade Point Average）が2.0以上なければならない。